

# 稲作情報 No.1

〔水稻育苗管理、大麦防除〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、福井米戦略課、JA中央会、JA経済連、主要農作物振興協会）

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2020inasaku.html>

- ・向こう1カ月の気温は平年並みまたは高い見込み。
- ・育苗ハウスの温度管理に注意しましょう。
- ・大麦の出穂期は暖冬の影響により平年に比べ9日程度早まる見込み。今後の生育を観察し、適期に赤かび病防除を行いましょう。

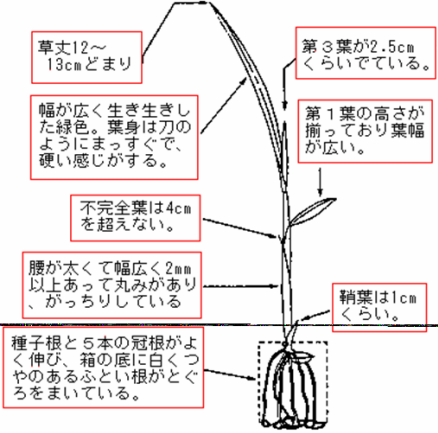
## 大麦

- ・越冬後の茎数は平年並み～やや多く、圃場によっては過剰である。
- ・出穂は早いところで4月4日ころの見込み。平均的なところで平年より9日程度早い4/10頃となる見込み。

作業	作業の注意点									
赤かび病防除	<p>【防除時期、薬剤】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>時期</th> <th>薬剤、使用量、使用時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>開花期(出穂期の5日後)</td> <td>トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫7日前</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>1回目の7～10日後</td> <td>* 同一成分の薬剤連用は避ける。使用時期（収穫前日数）にも注意する。 (上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出穂期は全茎の40～50%が出穂した日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂後、開花期に平均気温が15℃以上で降雨が続くときに多発する。被害粒混入限度0.0%を超えると出荷できない。</li> <li>・出穂状況を確認し遅れないように適期防除に努める。</li> </ul>		時期	薬剤、使用量、使用時期	1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫7日前	2回目	1回目の7～10日後	* 同一成分の薬剤連用は避ける。使用時期（収穫前日数）にも注意する。 (上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)
	時期	薬剤、使用量、使用時期								
1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫7日前								
2回目	1回目の7～10日後	* 同一成分の薬剤連用は避ける。使用時期（収穫前日数）にも注意する。 (上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)								
排水溝の手直し 雑草対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝の中の土さらいなど、排水溝から雨水が速やかに排出できるように手直しを行う。</li> <li>・水稻作の準備に向け用水への通水が始まったときは隣接水田等からの浸水の有無を確認する。</li> <li>・圃場周辺を見回りカラスノエンドウを抜き取る。大きくなると麦に絡みついて取りにくくなるので、目立つ前に除草する。</li> </ul>									










カラスノエンドウ

作業	作業の注意点																	
浸種～催芽	<p>【種子消毒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種子消毒等が必要な場合は、防除基準や防除指針を参考に種子消毒を行う。</li> </ul> <p>【浸種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水温と日数に注意して吸水ムラを防止し、発芽揃いを良くする。 種子消毒薬剤の効果を上げるため、<u>浸種開始後3日間は水を換えない</u>。その後は必要に応じて水を換える。</li> <li>浸種開始時には水温は15℃程度を確保し、そのときに10℃よりも低い水温とならないように注意する。</li> <li>浸種が終わりに近づいたら籾の様子をよく観察し、吸水ムラになっていないか確認する。</li> </ul> <p>【催芽】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>催芽温度は30℃。鳩胸状態で揃える。芽や根を伸ばしすぎると播種時に種子が引っ掛かり均等に播種できない。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>水温(°C)</th> <th>浸種日数の目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10日</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7～8日</td> </tr> </tbody> </table>	水温(°C)	浸種日数の目安	10	10日	15	7～8日										
水温(°C)	浸種日数の目安																	
10	10日																	
15	7～8日																	
播種～出芽	<p>【施肥量】 床土の施肥窒素施肥量は5月中旬以降に植えつけるコシヒカリで1.0g/箱とし、その他品種で1.5g/箱とする。</p> <p>【播種】 播種量はコシヒカリで一箱当たり130g、その他品種で150gとする。</p> <p>【出芽】 出芽温度は30℃。出芽期間は2～3日。芽を伸ばしすぎないように注意する。</p>																	
緑化	<p>【緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出芽苗を育苗ハウスに並べた後に、急に強い光が当たって白化苗となるのを防止するため、被覆資材を掛ける。 被覆資材を掛けている間は床土表面が乾いていないか確認し、乾いていた場合は少量の水を散布する。苗が黄色～黄緑色になったら被覆資材を外す。</li> <li>育苗ハウスに苗箱を出したとき、あるいは、被覆資材を外した後、床土が乾いていれば灌水する。</li> </ul>																	
硬化、馴化	<p>【温度管理】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化</td> <td>20～25℃</td> <td>15～20℃</td> <td>10℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>硬化</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>馴化</td> <td colspan="3">移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>5℃以下の低温が予想される時はストーブをたかなどして保温する。夜間に被覆資材をかけた後、翌朝低温の心配がなくなった時は忘れず外す。</li> <li>育苗ハウス内で生育差が大きい場合は育苗箱の位置を入れ替える。育苗箱の底面とハウスの床面に隙間があると生育差が出るので予め平らにしておく。</li> </ul> <p>【換気】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハウス内の気温が25℃以上にならないよう換気する。</li> <li>最低気温が10℃以下や強風時以外は夜間もハウスの側面の部分を開放する。</li> </ul>	時期	昼間	夜間	備考	緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない	硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない	馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない			 <p>目標とする稚苗の姿 (星川氏原図から作成)</p>
時期	昼間	夜間	備考															
緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない															
硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない															
馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない																	

作業	作業の注意点		
硬化、馴化	<b>【灌水】</b> ・朝、葉先に露を持っている場合は灌水しない。露が見えない時や育苗箱の縁の土が白く乾いている時は灌水する。 ・灌水は晴れた日の午前中に行い1回でたっぷりとする。午後3時以降はなるべく行わない。夜間の気温が高く床土が高水分だと徒長したり、病気の原因となる。 ・高温で日射量が多いと床土が乾燥しやすい。晴天が1日続く日は朝昼2回十分に灌水する。灌水量の目安は500ml/箱。 ・発根を促すため過灌水とならないように灌水する。		
	苗の葉齢	晴天	曇雨天
	1.0~1.3葉	朝1回(高温時床土が乾いたら少量灌水)	行わない
	1.3葉以上	朝、昼の2回	朝1回(または行わない)
<b>【馴化】</b> ・移植3日前頃からハウスの横面のビニールを大きく開けて苗を外気にならす。霜が降りる日は行わない。 <b>【移植前の薬剤育苗処理】</b> ・本田での病害虫防除のために、薬剤育苗処理を行う場合は防除基準を守る。 ・水稻育苗後に育苗ハウスを利用して別の作物を栽培する場合は、跡作に育苗処理薬剤の影響を出さないように注意する。			

### 【天気予報】

4月1日11時 福井県の週間天気予報

日付	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	
福井県	雨のち晴 	晴時々曇 	曇 	曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇 	
降水確率(%)	50/60/20/0	10	40	40	30	30	40	
信頼度	/	/	B	B	A	C	C	
福井	最高(°C)	14	18 (17~20)	17 (16~20)	12 (9~15)	16 (14~19)	19 (16~21)	17 (14~20)
	最低(°C)	8	3 (2~5)	5 (4~7)	3 (2~5)	2 (0~4)	4 (1~9)	8 (3~10)

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)  
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

### 【メールマガジン e農メール】

福井県内の農業者や農業関係者の皆さまに、稲作情報をホームページに掲載したことを速やかにお知らせするため、携帯電話向けの「e農メール(いーのうめーる)」を配信しています。  
 配信を希望される方は、お手数ですが福井県が運営する「eマガふくい」からご登録をお願いします。(福井県メールマガジン利用規約をご確認ください。)なお、登録および情報料は無料ですが、パケット通信料は各自でご負担いただくこととなりますので予めご了承ください。

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。  
[http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a\\_mail.html](http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html)



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス